

(解答例)

1. 干潟の間接的利用価値について簡潔に説明せよ

間接的利用価値とは、消費以外の形での利用によって得られる価値をさし、干潟の場合は、観光客にとって遊び場となること、アサリなどの水棲生物が川を流れてくる汚水を浄化してくれるという **Nature Service**、湾の環境を保全してくれることなどである。

2. リスクトレードオフについて例を挙げて説明せよ

リスクトレードオフとは、一つのリスクを減らす対策をするとそれと引き換えに別のリスクが増えることをいう。例えば、南アジアで糞便などによって細菌や寄生虫に汚染された表層水を飲料水にしているために乳幼児が下痢で死亡するリスクを減らすため、深井戸を掘って飲料水にした対策の帰結として、確かに下痢のリスクは減ったが、地下水の流れが変わって深井戸の水の砒素濃度が上昇したケースがあって、住民が砒素中毒になるリスクが上昇したことは、典型的なリスクトレードオフである。

3. 仮想評価法(Contingent Valuation Method = CVM)の利点は、質の異なる評価軸をすべて金銭に換算して評価できる点にあるが、欠点あるいは限界は何か？

限界は仮想の妥当性にある。とくに日常的に現金経済に接していない人が対象の場合の **WTP** と **WTA** の不一致は問題である。また、さまざまな評価軸を金銭に換算して貫くため、質問に戦略バイアス、追従バイアスなどが入ってしまうと回答が歪む可能性があるし、シナリオ伝達ミスやサンプル設計ミスによるバイアスなども起こりやすい。それらのバイアスを防ぐために厳密なガイドラインが定められているが、バイアスを完全に避けることは難しい。